

人間植物関係学特論演習（二）（2単位）

担当者氏名

山口裕文・木村正典

◆学習・教育目標

植物と人間との関係の歴史的発展過程を理解し、実際に生活や福祉に活用されている植物の事例を検証して、人間と植物の関係性を生活に活用する技法の応用を学ぶ。具体的には、観賞・癒し植物、景観形成植物、食用・香源植物、儀礼植物のもつ癒しやすさ、健康促進や生活の質の向上の効用を文献調査と併せて討論し、人間植物関係学特論で学んだ理論を深化させ、関係性の活用手法の応用技術を習得する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

人間植物関係学

園芸学

民族植物学

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	人間・植物の関係性の発展歴史	人間と植物の関係性の発展過程、競争・共生・共存関係の歴史	それぞれのテーマについて解析評価技術に関する問題を提起し、討議検証する。どのような人間植物関係性の活用と対策が考えられるか、教員と院生相互で考察して技法の整理と一般化を試みる。
2	自然景観・人工景観による福祉	森林セラピーとあぜ道のもつ癒し、草遊び	
3	観賞・庭園・景観植物による福祉	花、みどり、ガーデニング	
4	ナルコティクス植物による福祉	嗜み料、飲料、陶酔	
5	香源植物による福祉	香料香辛料植物、東西香り文化	
6	民家庭園とホームガーデンにおける福祉	緑陰樹、落葉、果物の季節	
7	儀礼・宗教植物による福祉	仏花、祝花、供花の多様性	
8	園芸植物による福祉	野菜、観賞植物、果樹	
9	ハーブと人との関わりの歴史	ハーブと人との関わりの発展過程、共存関係の歴史	
10	ハーブによる福祉	クラフト、ティー、料理、アロマセラピー	
11	都市農業と福祉	都市農業の多面的機能と将来展望	
12	都市緑化と福祉	公園、街路樹、公共空地	
13	コミュニティガーデンと福祉	コミュニティガーデン、市民農園、園芸ボランティア	
14	建物緑化と福祉	屋上緑化、壁面緑化、屋内緑化	
15	植物栽培と福祉	植物を作ることの多面的機能および将来展望	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

課題にそって文献検索し、読解して、各自で資料を作成しておく

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

バイオセラピー学入門（講談社）、園芸福祉入門、社会園芸学のすすめ

その都度紹介する

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

問題提起と発表・討論（100%）。発表の解りやすさ、着想、討論の進め方を参考にして評価する

◆その他受講上の注意事項

討論の資料を十分に吟味して、準備すること